

# JIS

自動車

ディーゼル機関用燃料噴射装置の試験  
第1部：校正用ノズル及びホルダアッセンブリ

JIS D 3637-1 : 2003

(JSAE/JSA)

(2008 確認)

平成 15 年 3 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 自動車技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	土 屋 孝 夫	社団法人自動車技術会
(委員)	大 野 陽 男	社団法人日本自動車部品工業会
	金 井 孝 孝	国民生活センター
	川 嶋 弘 尚	慶應義塾大学
	久 米 正 一	国土交通省自動車交通局
	小 林 行 雄	社団法人日本自動車連盟
	斎 藤 敬 三	独立行政法人産業技術総合研究所
	佐々木 要 助	株式会社曙ブレーキ中央技術研究所
	下 田 邦 夫	社団法人全日本トラック協会
	高 橋 彬 彬	日本自動車輸入組合
	平 松 金 雄	財団法人日本自動車研究所
	広 瀬 久 士	財団法人日本電動車両協会
	古 谷 國 貴	株式会社本田技術研究所
	水 野 慶 之	財団法人日本自動車輸送技術協会
	森 部 幸 男	社団法人日本自動車整備振興会連合会
	山 本 迪 迪	早稲田大学
	横 山 文 則	トヨタ自動車株式会社
	和 田 政 信	日産自動車株式会社

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 15.3.20

官 報 公 示：平成 15.3.20

原 案 作 成 者：社団法人自動車技術会

(〒102-0076 東京都千代田区五番町 10-2 五番町センタービル TEL 03-3262-8211)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4 丁目 1-24 TEL 03-5770-1573)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長代理 二瓶 好正)

審議専門委員会：自動車技術専門委員会 (委員長 土屋 孝夫)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 標準課産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

自動車—ディーゼル機関用燃料噴射装置の試験—  
第 1 部：校正用ノズル及びホルダアッセンブリ

## 正 誤 票

区分	位置	誤	正
本体	図 8	注(1)	注(1)を削除

平成 15 年 4 月 17 日作成

白 紙

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人自動車技術会 (JSAE)／財団法人日本規格協会 (JSA) から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

これによって **JIS D 3637** は廃止され、**JIS D 3637-1** 及び **JIS D 3637-2** に置き換えられる。

制定に当たっては、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案の提案を容易にするために、**ISO 7440-1 : 1991, Road vehicles—Fuel injection equipment testing—Part 1 : Calibrating nozzle and holder assemblies** を基礎として用いた。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

**JIS D 3637-1** には、次に示す附属書がある。

**附属書 1 (参考)** 参考文献

**附属書 2 (参考)** **JIS** と対応する国際規格との対比表

**JIS D 3637** の規格群には、次に示す部編成がある。

**JIS D 3637-1** 自動車—ディーゼル機関用燃料噴射装置の試験—第 1 部：校正用ノズル及びホルダアッセンブリ

**JIS D 3637-2** 自動車—ディーゼル機関用燃料噴射装置の試験—第 2 部：オリフィス板の流量測定

## 目 次

	ページ
序文 .....	1
1. 適用範囲 .....	1
2. 引用規格 .....	1
3. 要求事項 .....	2
3.1 校正用ノズル及びホルダアッセンブリ .....	2
3.2 構成品 .....	2
4. 呼び方 .....	12
4.1 一般例 .....	12
4.2 呼び方の説明 .....	12
4.3 組立品内容（第三要素）コードの構成 .....	12
附属書 1（参考）参考文献 .....	14
附属書 2（参考）JIS と対応する国際規格との対比表 .....	15
解 説 .....	18

# 自動車—ディーゼル機関用燃料噴射装置の試験—

## 第 1 部：校正用ノズル及びホルダアッセンブリ

### Road vehicles—Diesel fuel injection equipment testing— Part 1 : Calibrating nozzle and holder assemblies

**序文** この規格は、1991 年に第 2 版として発行された ISO 7440-1 : 1991, Road vehicles—Fuel injection equipment testing—Part 1 : Calibrating nozzle and holder assemblies を元に、対応する部分（形状及び寸法）については対応国際規格を翻訳し、技術的内容を変更することなく作成した日本工業規格であるが、対応国際規格には規定されていない規定項目を日本工業規格として追加している。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、原国際規格にない事項である。変更の一覧表をその説明を付けて、**附属書 2 (参考)** に示す。

**1. 適用範囲** この規格は、自動車ディーゼル機関用燃料噴射ポンプを試験装置上で試験及び調整するための、噴射量  $300 \text{ mm}^3/\text{stroke}$  以下の単孔オリフィス板形並びに  $150 \text{ mm}^3/\text{stroke}$  以下のピントル形校正用ノズル及びホルダアッセンブリの形状・寸法、それらを構成するエッジフィルタ及びオリフィス板の流量特性について規定する。

ただし、日本においては、これよりはるかに広い範囲で実用されており、受渡当事者間の協定によって噴射量  $300 \text{ mm}^3/\text{stroke}$  以上の単孔オリフィス板形、並びに  $150 \text{ mm}^3/\text{stroke}$  以上のピントル形校正用ノズル及びホルダアッセンブリに適用してもよい。

**備考** この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、ISO/IEC Guide 21 に基づき、IDT（一致している）、MOD（修正している）、NEQ（同等でない）とする。

ISO 7440-1 : 1991, Road vehicles—Fuel injection equipment testing—Part 1 : Calibrating nozzle and holder assemblies (MOD)

**2. 引用規格** 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、発効年（又は発行年）を付記してあるものは、記載の年の版だけがこの規格の規定を構成するものであって、その後の改正版・追補には適用しない。発効年（又は発行年）を付記していない引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

**JIS D 3604** 自動車—ディーゼル機関用燃料噴射ノズルの形状及び寸法—サイズ “S”

**備考** ISO 2697 : 1974 Road vehicles—Fuel injection nozzles—Size “S” からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

**JIS D 3631** : 1998 自動車—ディーゼル機関用燃料噴射ノズルホルダの形状及び寸法—サイズ “S” ノズル用